

Y03a

花山天文台における小学生のための天文普及活動「みんなで作るバタフライダイアグラム」

鴨部麻衣, 石井貴子, 西田圭佑, 大辻賢一, 玉澤春史, 木村剛一, 門田三和子, 柴田一成, 野上大作 (京大理), 関智也 (京都市教育委員会), 萩野正興 (国立天文台)

京都大学花山天文台では、京都市教育委員会の「京都大学との連携事業」の一環として、京都市立小学校の児童を対象とした「花山天文台体験学習」を受け入れている。さらに京都市立堀川高等学校とも連携し、高校生が学習ノート作成や見学の解説員として貢献している。2015年には、体験学習のコンテンツとして、「みんなで作るバタフライダイアグラム」を行った。本講演では、京都市教育委員会との連携事業の概要と小学生と作る太陽のバタフライダイアグラムの制作について報告する。

「みんなで作るバタフライダイアグラム」では、小学生が観測施設を見学する際に、太陽黒点の発生年月と緯度が記されたカードを一人ずつに配布した。約11年に及ぶ花山天文台の観測データを用いて、小学生全員が作成に参加した。対象校すべての見学終了後に、完成したグラフと解説資料を各クラスに配布した。

2013年に始まった「花山天文台体験学習」では、これまでにのべ33校、約1970名の小学生が花山天文台を訪れ、児童・生徒たちに最先端の天文学や研究者に触れる機会を提供してきた。「バタフライダイアグラム」についても見学中に児童から、「これって蝶々の形になるんちゃう？」という気づきにつながるコメントがあり、太陽観測の重要性や継続観測の意義を伝えるアウトリーチ教材としての利用価値が高いことを確認した。